

エントリ番号 0025

時を超えた人と人の存在の交わり

影の対話

Majikitchen

人々の「影」を記録し、時間差で再投影することで
異なる時間に訪れた人々の影が対話

CONCEPT

「影の対話」は、公共空間で人々の影を記録し、時間差で再投影するアートインスタレーションです。

異なる時間に訪れた人々の影が一つの場所で交差し、まるで見知らぬ者同士が対話しているかのような独特な体験を生み出します。

HOW?

このインスタレーションは、影を検知するセンサーとプロジェクターを組み合わせた独自のシステムを使用しています。

歩行人の影はリアルタイムで記録され、そのデータは一定時間遅延させて同じ場所に再投影されます。遅延時間は数時間から数日まで設定可能で、柔軟性を持たせています。

重要な点として、プライバシー保護のため、個人を特定できる情報は含まず、純粋に影のデータのみを使用します。

WHAT'S NEW?

「影の対話」は、物理的な接触や言語を介さずに見知らぬ人同士が交流する、全く新しいコミュニケーションの形を実現します。

影を通じた非言語的な対話は、言葉の壁を超え、直感的で普遍的な交流を可能にします。これにより、多様な背景を持つ人々が、共通の体験を通じてつながりを感じることができます。

VALUE OFFERS

この作品は、都市の公共空間に設置されることで、日常の風景に魔法のような要素を加えます。通常は無機質になりがちな都市の道端や広場が、人々の影が交錯する不思議な空間へと変貌します。これにより、都市生活者に新鮮な驚きと発見をもたらし、日常空間に対する認識を変える効果が期待できます。

「影の対話」は、単なるアート作品を超えて、社会的な間いかけを行う装置としての役割も果たします。この作品を体験することで、人々は時間と空間を超えたつながりの可能性に気づき、都市生活における孤立感を和らげるきっかけを得ることができます。

さらに、この作品が引き起こす対話や反応を通じて、コミュニティの結束力強化や社会的包摂の促進といった、より広範な社会的影響も期待されます。

WHY?

現代社会では、同じ空間を共有しながらも他者との関わりが希薄になり、孤立感や疎外感を感じる人が増加しています。

「影の対話」は、時間と空間を超えて人々の存在を可視化し、他者とのつながりや共感を促進することを目的としています。この作品を通じて、日常生活では意識しにくい他者の存在や社会のつながりを感じるきっかけを提供します。